表１　平成 27 年度初期環境調査検出状況・検出下限値一覧表

物質調査番号	調査対象物質	水質(ng/L)		大気(ng/m^3)	
		範囲 検出頻度	検出 下限値	範囲 検出頻度	検出 下限値
[1]	アクリル酸 2-ヒドロキシエチル　※			nd 0/18	58
[2]	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン　※			nd～14 3/16	8.6
[3]	*N*-エチルアニリン	nd 0/15	13		
[4]	2,3-エポキシ-1-プロパノール			nd 0/16	1,000
[5]	銀及びその化合物（銀として）　※	nd～120 19/21	0.6		
[6]	2,4-ジアミノアニソール	nd 0/16	160		
[7]	2,4-ジクロロフェノール	nd～8.3 2/21	1.9		
[8]	*N,N*-ジメチルアセトアミド　※	nd～73,000 11/20	14		
[9]	2,3-ジメチルアニリン	nd 0/15	12		
[10]	2,3,5,6-テトラクロロ-*p*-ベンゾキノン	nd 0/14	180		
[11]	1,2,3-トリメチルベンゼン	nd～11 2/16	4.8		
[12]	*N*-ニトロソジメチルアミン			0.17～380 12/12	0.017
[13]	ビス(4-アミノシクロヘキシル)メタン　（別名：ジアミノジシクロヘキシルメタン）	nd 0/16	14		
[14]	1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン	nd 0/19	9.7		
[15]	有機スズ化合物　※				
[15-1]	モノブチルスズ化合物	nd～220 7/23	4.4	nd～16 5/14	4.7
[15-2]	ジブチルスズ化合物	nd～160 7/22	1.7	nd 0/14	4.9
[15-3]	ジメチルスズ化合物	nd～110 6/23	7.0	nd～18 1/14	3.7

（注１）検出頻度は検出地点数/調査地点数（測定値が得られなかった地点数及び検出下限値を統一したことで集計の対象から除外された地点数は含まない。）を示す。１地点につき複数の検体を測定した場合において、１検体でも検出されたとき、その地点は「検出地点」となる。

（注２）範囲は全ての検体における最小値から最大値の範囲で示した。そのため、全地点において検出されても範囲がnd～となることがある。

（注３）■は調査対象外の媒体であることを意味する。

（注４）※：排出に関する情報を考慮した地点も含めて調査した物質であることを意味する。